

# 繰り返される大地震と大津波！

## 福岡県西方沖地震の痕跡とスマトラ沖地震とインド洋大津波の例

2004年12月のスマトラ島沖地震とそれに伴うインド洋大津波は、インドネシアやタイを始めとした国々に大きな被害を与えました。これは、地震国日本でも他人事ではありません。スマトラ島沖地震を発生させたプレート境界の地震は、東海～四国沖や北海道沖でも発生していて、それによる津波被害も起きています。一方、日本の内陸にも多くの活断層があり、その活動で被害が生じています。ここ福岡でも、2005年3月の福岡県西方沖地震で被害が発生しました。このような地震による被害の軽減のために、昔の地震の記録もあわせて調べることが大切です。このシンポジウムでは、地震や津波の発生から、昔の地震の調べ方、そして、今後の防災対策まで、5名の専門家の方々に分かりやすくお話ししてもらいます。

\*当日は関係機関による地震や津波及びそれに関係した研究成果などのポスター展示も計画しています。あわせてご覧下さい。

講演者：末廣 潔（海洋研究開発機構）

題名：スマトラ島沖地震・インド洋大津波をもたらした海底変動と地震断層

内容：

スマトラ島沖地震の震源は海底にありました。そして、地震に伴う海底の変動が津波を発生させました。ここでは、海洋研究開発機構による地震直後の海底調査の結果から、海底でどのようなことが起こったかを紹介します。また、地震の何が分かることが被害軽減に役立つかを考えます。

講演者：佐竹 健治（産業技術総合研究所）

題名：古地震調査から明らかになった世界の巨大地震と津波

内容：

スマトラ島沖地震はマグニチュード9.1の巨大地震でした。インド洋ではこのような巨大地震が歴史上知られておらず、対策がとられていなかったことが被害を大きくしました。巨大地震は世界でどの程度発生してきたのでしょうか？ここでは地質学的な調査結果によって明らかになってきた日本や世界の巨大地震・津波について紹介します。

講演者：西村 裕一（北海道大学）

題名：スマトラ島沖地震津波に伴う堆積物－津波堆積物研究の意義

内容：

津波は大きなエネルギーを持っているので、海岸に近い津波は海底の堆積物を巻き込んで運搬し、陸上に津波堆積物を作ります。スマトラ島沖地震津波でも津波堆積物が形成されました。ここでは、この調査結果を紹介するとともに、地震研究における津波堆積物研究の重要性についてお話しします。

講演者：今村 文彦（東北大学）

題名：津波被害の実態と教訓そして今後の対策

内容：

津波は深海域では時速700km以上の速さで進み、巨大なエネルギーのすべてを沿岸部に伝えます。このため、人間生活に及ぼす影響は甚大で、時に想像を絶する被害を生じさせます。ここでは、被害の実態を紹介するとともに、日本が行える被災地への復興・復旧や今後の対策への支援、日本での津波対策への活用などについてお話しします。

講演者：岡村 眞（高知大学）

題名：九州周辺海域の堆積物に残された地震と津波の記録

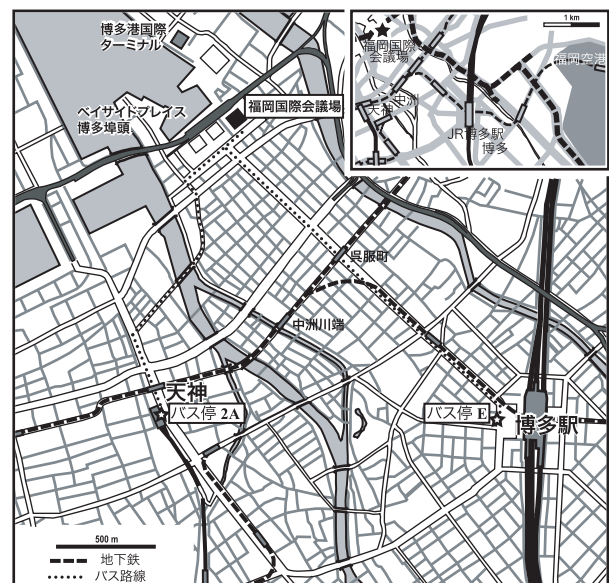
－特に博多湾の警固断層を中心に－

内容：

九州周辺にもたくさんの活断層が存在します。ここでは、沿岸海域の調査結果から、この地域の過去の地震や津波の記録を紹介します。また、福岡県西方沖地震を引き起こした博多湾の警固断層の調査結果から見てきた地震発生履歴について述べます。

問い合わせ先： TEL 092-642-2696

九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門事務室



開催日時：2006年8月27日（日）

13:30-16:30

開催場所：福岡国際会議場5階

国際会議室（501）

福岡市博多区石城町2-1 福岡サンパレス隣

参加費・人数：無料・400名（先着）

主催：

第17回国際堆積学会議組織委員会・日本堆積学会・九州大学大学院理学研究院・九州大学掘削科学研究リサーチコア・福岡大学・産業技術総合研究所・海洋研究開発機構

後援：

福岡市・福岡観光コンベンションビューロー

会場への行き方：

・博多駅から：博多センタービル前E乗り場（福銀前）  
11番・19番・47番・48番・50番（バス約13分）  
・天神から：ソラリアステージ前2A乗り場  
80番（バス約8分）

博多埠頭行 国際センター・サンパレス前 下車  
中央埠頭行 国際会議場・サンパレス前 下車